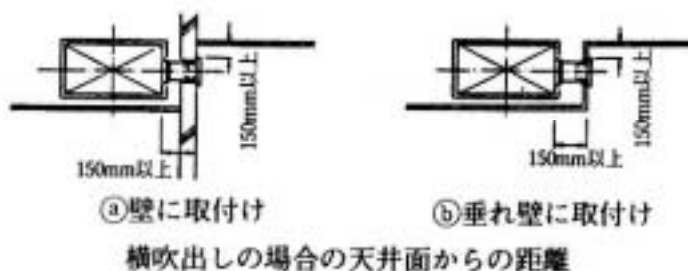


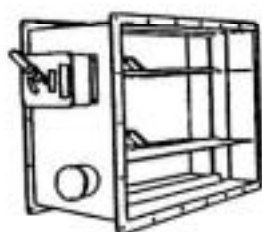
(注) 横吹出しの場合、建築構造上あるいは意匠上の制約があるが、天井面の汚れを防止するため、吹出口天端は天井面より原則として150mm以上離す。



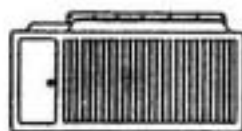
(2) 排煙口

○排煙口の種類

- ①排煙ダンパー ダンパーの側面にダンパー開放用と復帰用の制御器を取り付けたもので、この形式のものは通常吸込口と分離してダクト途中に取り付けられるので、天井ふところに余裕がないときに有利である。
- ②グリル型排煙口 排煙ダンパー形式のものに吸込グリルが取り付けられているものである。この形式のものは、天井面・壁面などに直接取付けるが、天井面や壁面からダクト接続面までの距離が最低300mm必要なのでスペースの検討を要する。
通常フランジ接続であるが、ダクト挿入式も可
- ③スイング型排煙口 単翼ダンパーにダンパー開放用の制御器を取り付けたものであるが、吸込みグリルを有さず、天井面・壁面に取り付けた場合に翼自体が建築の仕上面となる。



①排煙ダンパー



②グリル型排煙口(フランジ接続)



③スイング型排煙口(ダクト挿入)

○排煙口の取付例

